

医薬ジャーナル

6 月号 Vol. 54 No. 6 2018
Medicine and Drug Journal

■特集・実臨床へ向けた時間医薬研究の新動向

1. 時間医薬研究の現状と展望小柳 悟
2. 概日リズムの分子メカニズム
～RNA編集による転写後制御とリン酸化シグナリング～吉種 光
3. 睡眠のフォワード・ジェネティクス研究船戸弘正
4. 時差環境下における概日リズム障害の
分子メカニズムと治療標的山口賀章
5. 概日リズムの加齢変容と不妊高須奈々ほか
6. アレルギー疾患の概日リズム分子機構と
新しい予防・治療法中村勇規
7. 慢性疼痛の概日変動メカニズムと新しい治療標的楠瀬直喜ほか
8. 時間栄養学的な観点からの疾病予防田原 優
9. 時間治療の実臨床への展開と課題牛島健太郎

医薬ジャーナル論壇 ▶行動経済学と薬剤師(寺田智祐)

編集長VISITING(415)・「心臓病は心不全予防の時代に～心筋梗塞は予後が課題～」

.....平山篤志氏

資料・薬価基準新規収載薬一覧(平成30年5月22日)

◆連載◆

薬剤師が知っておくべき臓器別画像解析の基礎知識(90)(勝見祐二・高木律男)/感染症診断と病理(12)(堤 寛)/臨床薬学のための病態生理(5)(坂本 崇・村田美穂)/クリニカル・パスと薬剤師(78)(渡辺典子ほか)/患者のQOL向上と薬剤師の関わり:PART I. 院内製剤(90)(宮本 仁ほか), PART II. 服薬指導と病棟活動(123)(木永 舞・齋藤秀之)/副作用・薬物相互作用トレンドチェック(74)(佐藤宏樹・澤田康文)/医薬品情報(DI)室より(29)(山本 譲・田崎嘉一)